菊池玄之介君

かの師の教へ受け継ぎし地に君何故来たるこの北溟の地にまれます。 貴 き野心ゆめ忘るまじとうと おもい ひたと気高く

いざ踏み出さむ新たなる夢

道草恋しき時もあるかな 野心は強く熱くとも

我らが大き大き夢の芽語り合おうぞ 青き春の夜友らが宴

曇り澱みし過去では まえ 我らが未来はいかなるものか あれ سخ

大和の栄えをば担うは我らぞ失達に続け より先は我らが拓かむ